

安全性データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : EzDNA Ladder
製品コード : WSE-7030
会社名 : アトー株式会社
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2
電話番号 : 03-5827-4861
ファックス番号 : 03-5827-6647
緊急連絡先 : 03-5827-4871

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : GHS 分類基準に該当しない。
GHS ラベル要素 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : なし

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

WSE-7030 EzDNA Ladder				
成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
グリセリン	25%>	HOCH2CHOHCH2OH	2-242	56-81-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。異常があれば、医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。異常があれば、医師の手当てを受けること。
- 目に入った場合 : 目に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。異常があれば、医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
- 応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水スプレー(水噴霧), 二酸化炭素(CO₂), 泡, 粉末消火剤, 砂
- 火災時の特有危険有害性 : 消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を絶ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行う。必ず保護具を着用し、状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された廃液が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和 : 火気厳禁とし、ウェス、減圧等の方法で吸収させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。

人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。取り扱った後は石鹼などを用いてよく洗う。

注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の乱暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気やミストを発生させない。使用後は容器を密封する。

取り扱い後は手、顔、等をよく洗い、うがいを励行する。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。

安全取扱い注意事項 : 吸い込んだり、目、皮膚、および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

屋内作業場における取り扱い場所では局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件 : 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。可燃物を近くに置かない。

安全な容器包装材料 : ガラス、テフロン、ステンレス、鉄
 堅牢で不活性な材質の容器を用いる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所的排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度、作業環境評価基準

: 設定されていない

許容濃度

ACGIH TLV(s) : TWA 15mg/m³

日本産業衛生学会 : 設定されていない

生物学的暴露指標 : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 液体

色 : 暗緑色

臭い : なし

pH : 8.0-8.5

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : データなし

沸騰範囲 : データなし

融点 : データなし

引火点 : データなし

発火点 : データなし

爆発特性 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

密度 : データなし

溶解性 : データなし

オクタノール/水分配係数 : データなし

その他データ : なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 推奨条件下で安定。
反応性	: 情報なし
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と接触すると発火の危険性がある。
避けるべき条件	: 湿気, 高温と直射日光, 熱、炎、火花, 静電気、スパーク
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO ₂)

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 ヒト TDLo: 1428mg/kg 頭痛 吐気、嘔吐(RTECS) 皮下 マウス LD50: 91mg/kg (RTECS) 経口 ラット LD50: 12600mg/kg 全身麻酔 筋肉の弱まり (RTECS) 経口 ラット LD50: 27200mg/kg (SIDS) 経口 マウス LD50: 4090mg/kg (RTECS) 経皮 ウサギ LD0: >18700mg/kg(SIDS) 吸入 ラット LC50: >570mg/m ³ /1H (RTECS) 腹腔 マウス LD50: 8700mg/kg 睡眠時間の変化(RTECS) SIDS データより分類。(JETOC)
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚-ウサギ 500mg/24 時間 軽度 ウサギで“not irritating”と評価されており、Draize スコアは 0-0.4/30 である。(JETOC)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 眼-ウサギ 126mg 軽度 ウサギの試験で Draize スコアは 0-2/110 であり、“not irritating”と評価されている。(JETOC)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 皮膚感作性: ヒトのパッチテストで陰性、およびモルモット試験で試験の妥当性に不明な点があるが陰性である。(JETOC 推定)
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: OSHA, IARC, NTP にがん原性の記載なし。
生殖毒性	: ラットの経口投与による 2 世代試験で、親動物の性機能および生殖能への影響、そして生後の仔の発生指標への影響は認められていない。また、ウサギ、ラットおよびマウスの仔の器官形成期を含む期間に経口投与した試験で催奇形性も認められていない。(JETOC)
特定標的臓器・全身毒性、反復暴露	: ラット 2 年間経口投与試験で NOAL=1000mg/kg と区分 2 のガイダンス値の上限の 10 倍の用量でも有害影響は認められなかった。また、ラットの 13 週間吸入試験で、区分 2 のガイダンス値の上限を超えた

0.662mg/L の用量で局所刺激による軽微な扁平上皮化生が気道(咽頭蓋)に認められたが、重大な毒性影響でなく、そのほかの重大な毒性影響はなかった。(JETOC)

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : 魚類 LC50 : 184,000mg/L/96hr (SIDS)

金魚 LC50 : >5,000mg/L/24hr (SIDS)

ウグイ LC0 : >250mg/L/48hr (SIDS)

[急性毒性]

オオミジンコ EC50: >10,000mg/L/24hr (SIDS)

ミジンコ類 EC50: 153,000mg/L/48hr (SIDS)

緑藻 EC3: >10,000mg/L/8day (SIDS)

藍藻 EC3: >2,900mg/L/8day (SIDS)

藻類 EC50: 77,712mg/L/96hr (SIDS)

土壤中の移動性 : 物理化学的性質からみて水系、土壤環境に移動しうる。

残留性/分解性 : 良分解性

分解度: 63% by BOD(経産省既存化学物質安全性点検)

分解度: 94% by TOC(経産省既存化学物質安全性点検)

分解度: 100% by GC(経産省既存化学物質安全性点検)

生体蓄積性 : データなし

13. 廃棄上注意

残余廃棄物: 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

少量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。

これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器・包装 : 多量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当

国連分類 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適応法令

化学物質管理促進法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化審法 : 非該当

消防法 : 危険物第4類 第3石油類（水溶性）危険等級3
（グリセリン）

航空法 : 非該当

16. その他

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の実施を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施してください。

また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。